中学校歴史 単元別学習 90 問

第 2 単元 日本列島の人々と国家の形成

範囲：旧石器時代／縄文時代／弥生時代／古墳時代
用語を確かめ、出来事の順序や、暮らし・政治・文化のつながりを説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

旧石器時代の日本列島

問 1　石を打ち欠いて、鋭い刃をつけた石器を何というか。

問 2　打製石器を使い、狩りや採集を中心に暮らした時代を何というか。

問 3　日本にも旧石器時代があったことを明らかにした、群馬県の遺跡は何か。

問 4　岩宿遺跡がある都道府県はどこか。

問 5　野生の動物を捕らえ、食料などを得ることを何というか。

問 6　木の実や山菜など、自然の植物をとることを何というか。

問 7　大陸の氷河が広がる寒冷な時期が繰り返された時代を何というか。

縄文時代のくらし

問 8　縄目の模様がついたものが多い、縄文時代の土器を何というか。

問 9　縄文土器が使われ、狩り・漁・採集などで暮らした時代を何というか。

問 10　石を磨いて、形や刃を整えた石器を何というか。

問 11　縄文時代の狩りで使われた、離れた獲物を射る道具は何か。

問 12　貝殻や魚・動物の骨などが積み重なってできた遺跡を何というか。

問 13　大森貝塚の発掘で知られる、アメリカ人の研究者は誰か。

問 14　地面を掘り下げて床をつくり、柱を立てて屋根をかけた住居を何というか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　一定の場所に住み続ける暮らし方を何というか。

問 16　縄文時代に作られた、祈りなどに使ったと考えられる土の人形は何か。

問 17　青森県にある、縄文時代の大規模な集落の遺跡は何か。

問 18　三内丸山遺跡がある都道府県はどこか。

問 19　魚や貝など、水中の生き物をとって食料を得ることを何というか。

弥生時代のくらし

問 20　米を作る農業を何というか。

問 21　水を引き入れ、稲を育てる田を何というか。

問 22　水田稲作などが日本列島に伝わる際、主な経路となった半島はどこか。

問 23　縄文土器に続き、稲作が広がった時代に使われた土器を何というか。

問 24　湿気やねずみの害を防ぐため、床を高くした米などの貯蔵施設は何か。

問 25　稲の穂を摘み取るために使われた、石製の道具は何か。

問 26　周囲に堀をめぐらせた、弥生時代の集落を何というか。

問 27　佐賀県にある、大規模な環濠集落で知られる弥生時代の遺跡は何か。

問 28　銅とすずなどの合金で作られ、弥生時代の祭りにも使われた器物は何か。

問 29　弥生時代の祭りに使われた、つり鐘に似た形の青銅器は何か。

小国の成立と邪馬台国

問 30　古代の中国で、日本列島の人々や国々を指して使われた呼び名は何か。

問 31　57 年に使節を送り、後漢の皇帝から金印を授けられた国は何か。

問 32　57 年に奴国の使節が訪れた、中国の王朝は何か。

問 33　志賀島で発見され、「漢委奴国王」と刻まれた印を何というか。

問 34　卑弥呼を女王とし、周辺の国々をまとめていたとされる国は何か。

問 35　3 世紀に邪馬台国を治め、魏に使節を送った女王は誰か。

問 36　239 年に卑弥呼が使節を送り、称号や銅鏡を与えられた中国の国は何か。

問 37　卑弥呼や邪馬台国について記した、中国の歴史書の一節を何というか。

古墳と大和政権

問 38　有力な支配者の墓として、土を高く盛って築いた大きな墓を何というか。

問 39　上から見ると、円形と方形を組み合わせた形の古墳を何というか。

問 40　古墳の上や周囲に並べられた、粘土を焼いた筒や人・動物などの像は何か。

問 41　大和地方を中心に、有力な豪族が結び付いて成立した政権を何というか。

問 42　大和政権の中心となった大和地方にある、現在の奈良県の盆地はどこか。

問 43　大和政権の支配者が名乗った、おおきみと読む称号は何か。

問 44　5 世紀に中国の南朝へ使節を送った、讃・珍・済・興・武を何と総称するか。

大陸との交流と新しい技術

問 45　朝鮮半島などから日本列島に移り住み、技術や文化を伝えた人々は何か。

問 46　朝鮮半島から伝わった技術で、高温の窯で焼かれた硬い土器を何というか。

問 47　弥生時代から農具や武器に使われた、鉄製の道具をまとめて何というか。

問 48　渡来人らが使用を広め、記録や政治に用いられた中国生まれの文字は何か。

問 49　大和政権で、豪族が同じ祖先をもつと考えて組織した集団を何というか。

問 50　大王が豪族に与えた、臣・連などの地位や役割を示す称号を何というか。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　四つの時代の順序

ア 縄文時代　　イ 古墳時代
ウ 弥生時代　　エ 旧石器時代

問 2　食料を得るくらしと支配者の墓

ア 旧石器時代に大型動物を狩る　　イ 弥生時代に米を高床倉庫に蓄える
ウ 縄文時代の貝塚が残される　　エ 大仙陵古墳が築かれる

問 3　道具と土器の移り変わり

ア 5 世紀、須恵器の生産が広がる　　イ 旧石器時代に打製石器を使う
ウ 縄文土器が使われ始める　　エ 弥生時代に石包丁で穂を摘む

問 4　住まいと集落の変化

ア 弥生時代に環濠集落が発達する　　イ 大仙陵古墳が築かれる
ウ 旧石器時代に移動しながら暮らす　　エ 三内丸山に大きな集落が栄える

問 5　祈りと墓の移り変わり

ア 縄文時代に土偶を作る　　イ 大仙陵古墳が築かれる
ウ 弥生時代に銅鐸で祭りを行う　　エ 3 世紀後半、前方後円墳が広がる

問 6　縄文の集落から小国の外交へ

ア 北部九州に水田稲作が伝わる　　イ 奴国が後漢から金印を授かる
ウ 卑弥呼が魏に使節を送る　　エ 三内丸山に大きな集落が栄える

問 7　小国の外交から大王の外交へ

ア 卑弥呼が魏に使節を送る　　イ 倭王武が宋に使節を送る
ウ 卑弥呼が女王に選ばれる　　エ 奴国が後漢から金印を授かる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　漢の統一と倭の外交

ア 奴国が後漢から金印を授かる　　イ 倭王武が宋に使節を送る
ウ 漢が中国を統一する　　エ 卑弥呼が魏に使節を送る

問 9　稲作の伝来から新しい土器へ

ア 北部九州に水田稲作が伝わる　　イ 卑弥呼が魏に使節を送る
ウ 5 世紀、須恵器の生産が広がる　　エ 奴国が後漢から金印を授かる

問 10　稲作の開始から古墳の広がりへ

ア 北部九州に水田稲作が伝わる　　イ 3 世紀後半、前方後円墳が広がる
ウ 卑弥呼が魏に使節を送る　　エ 奴国が後漢から金印を授かる

問 11　狩りの道具と中国との交流

ア 縄文時代に弓矢で狩りをする　　イ 奴国が後漢から金印を授かる
ウ 旧石器時代に打製石器を使う　　エ 倭の五王が南朝に使節を送る

問 12　大陸との交流と文字の使用

ア 三内丸山に大きな集落が栄える　　イ 北部九州に水田稲作が伝わる
ウ 卑弥呼が魏に使節を送る　　エ 5 世紀、渡来人が漢字の使用を広める

問 13　金印・邪馬台国・古墳・大王

ア 3 世紀後半、前方後円墳が広がる　　イ 卑弥呼が魏に使節を送る
ウ 奴国が後漢から金印を授かる　　エ 倭王武が宋に使節を送る

問 14　女王の登場と巨大古墳

ア 大仙陵古墳が築かれる　　イ 卑弥呼が女王に選ばれる
ウ 卑弥呼が魏に使節を送る　　エ 北部九州に水田稲作が伝わる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　中国王朝の交代と倭の外交

ア 後漢が滅び、魏が成立する　　イ 奴国が後漢から金印を授かる
ウ 倭王武が宋に使節を送る　　エ 卑弥呼が魏に使節を送る

問 16　卑弥呼の生涯と、その後の外交

ア 倭王武が宋に使節を送る　　イ 卑弥呼が亡くなる
ウ 卑弥呼が女王に選ばれる　　エ 卑弥呼が魏に使節を送る

問 17　後漢・魏・宋との交渉

ア 奴国が後漢から金印を授かる　　イ 師升らが後漢に使節を送る（107 年）
ウ 倭王武が宋に使節を送る　　エ 卑弥呼が魏に使節を送る

問 18　土器と墓の発達

ア 5 世紀、須恵器の生産が広がる　　イ 3 世紀後半、前方後円墳が広がる
ウ 弥生土器が使われ始める　　エ 縄文土器が使われ始める

問 19　縄文の集落から倭の五王へ

ア 倭の五王が南朝に使節を送る　　イ 三内丸山に大きな集落が栄える
ウ 卑弥呼が魏に使節を送る　　エ 奴国が後漢から金印を授かる

問 20　日本列島の長い変化をたどる

ア 北部九州に水田稲作が伝わる　　イ 旧石器時代に大型動物を狩る
ウ 3 世紀後半、前方後円墳が広がる　　エ 倭王武が宋に使節を送る

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　岩宿遺跡では、縄文土器が出る地層より下から打製石器が見つかった。この発見は、日本列島の人々の歴史について何を明らかにしたか。

問 2　氷期の終わりごろから気候が暖かくなると、人々の食料や狩りはどう変わったか。森林の広がりと結び付けて説明しなさい。

問 3　縄文土器の使用によって、食生活はどのように変わったか。「煮炊き」の語を使って説明しなさい。

問 4　次の出土品から、当時の人々はどのように食料を得ていたと考えられるか。二つ挙げ、根拠となる出土品も示しなさい。
資料　ある貝塚から、貝殻・魚の骨・シカの骨・石の矢じりが見つかった。

問 5　三内丸山遺跡では、竪穴住居や貯蔵穴の跡が多数見つかっている。どのような暮らしが考えられるか。「定住」の語を使って説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　縄文時代と比べ、弥生時代には食料を得る方法にどのような変化があったか。「稲作」の語を使って説明しなさい。

問 7　米などを蓄える倉庫の床を高くしたのはなぜか。湿気と動物の害の二つの面から説明しなさい。

問 8　水田稲作が広がると、集落の人々の協力が必要になったのはなぜか。作業の例を一つ以上挙げて説明しなさい。

問 9　稲作の広がりが、集落内の貧富や身分の差につながったのはなぜか。「蓄え」「指導者」の語を使って説明しなさい。

問 10　弥生時代の遺跡には堀や柵、武器で傷ついた人骨が見られる。堀や柵の目的と、争いの原因を考えて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　弥生時代の青銅器と鉄器は、主にどのように使い分けられたか。それぞれの道具の例を一つ挙げて説明しなさい。

問 12　奴国の王が後漢へ使節を送り、金印を授けられたことには、どのような意味があったか。「皇帝」「権威」の語を使って説明しなさい。

問 13　卑弥呼はどのように国々をまとめ、また外国と関わったか。「祭り」「魏」の語を使って説明しなさい。

問 14　倭の五王が中国の南朝へ使節を送り、称号を求めた目的を、国内や朝鮮半島との関係から説明しなさい。

問 15　大仙陵古墳などの巨大な古墳から、支配者がどのような力をもっていたと考えられるか。「人々」「労働」の語を使って説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　渡来人が伝えた技術や文化を二つ挙げ、それらが日本列島の社会にどのように役立ったか説明しなさい。

問 17　発展　「縄文時代は自然の食料だけ、弥生時代は米だけで暮らした」という説明は適切か。次の資料を使って説明しなさい。
資料　縄文の集落にはクリを管理した形跡があり、弥生の遺跡にも魚や動物の骨が残る。

問 18　発展　日本列島の各地で、同じ年に弥生時代が始まったといえるか。資料を使って説明しなさい。
資料　水田稲作は北部九州から時間をかけて広がった。北海道などでは、水田稲作と異なる食料の得方が続いた。

問 19　発展　邪馬台国の所在地は確定していない。所在地を調べるには、文字の記録と発掘調査の成果をどのように組み合わせればよいか。

問 20　発展　各地に共通した形の前方後円墳があることから、豪族の関係をどう考えられるか。それだけで全国が一つの法律で治められたと断定できるか。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	打製石器	26	環濠集落
2	旧石器時代	27	吉野ヶ里遺跡
3	岩宿遺跡	28	青銅器
4	群馬県	29	銅鐸
5	狩猟	30	倭
6	採集	31	奴国
7	氷河時代	32	後漢
8	縄文土器	33	金印
9	縄文時代	34	邪馬台国
10	磨製石器	35	卑弥呼
11	弓矢	36	魏
12	貝塚	37	『魏志』倭人伝
13	モース	38	古墳
14	竪穴住居	39	前方後円墳
15	定住	40	埴輪
16	土偶	41	大和政権
17	三内丸山遺跡	42	奈良盆地
18	青森県	43	大王
19	漁労	44	倭の五王
20	稲作	45	渡来人
21	水田	46	須恵器
22	朝鮮半島	47	鉄器
23	弥生土器	48	漢字
24	高床倉庫	49	氏
25	石包丁	50	姓

認められる表記の例

問 7：氷河期も可。問 14：竪穴建物も可。問 24：高床式倉庫も可。
問 26：環壕集落も可。問 27：吉野ケ里遺跡も可。問 34：邪馬臺国も可。
問 41：ヤマト王権・大和王権も可。問 43：おおきみも可。問 49：うじ、問 50：かばねも可。

解答 STEP 2 並び替え

「前」は紀元前を表します。古代の年代は目安を含み、地域によって変化の時期は異なります。

番号	答え	解説
1	エ→ア→ウ→イ	旧石器時代（縄文時代より前） → 縄文時代（旧石器時代の次） → 弥生時代（縄文時代の次） → 古墳時代（弥生時代に続く）
2	ア→ウ→イ→エ	大型動物の狩り（旧石器時代） → 縄文時代の貝塚（縄文時代） → 米を高床倉庫に貯蔵（弥生時代） → 大仙陵古墳の築造（5 世紀中ごろ）
3	イ→ウ→エ→ア	打製石器の使用（旧石器時代） → 縄文土器の登場（縄文時代の始まり） → 石包丁による収穫（弥生時代） → 須恵器生産の広がり（5 世紀）
4	ウ→エ→ア→イ	移動中心の生活（旧石器時代） → 三内丸山の集落（縄文時代） → 環濠集落の発達（弥生時代） → 大仙陵古墳の築造（5 世紀中ごろ）
5	ア→ウ→エ→イ	土偶の製作（縄文時代） → 銅鐸を使う祭り（弥生時代） → 前方後円墳の広がり（3 世紀後半） → 大仙陵古墳の築造（5 世紀中ごろ）
6	エ→ア→イ→ウ	三内丸山の集落（縄文時代） → 北部九州への水田稲作（弥生時代の始まりごろ） → 奴国の金印（57 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年）
7	エ→ウ→ア→イ	奴国の金印（57 年） → 卑弥呼の共立（2 世紀後半ごろ） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 倭王武の宋への使節（478 年）
8	ウ→ア→エ→イ	漢の中国統一（前 202 年） → 奴国の金印（57 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 倭王武の宋への使節（478 年）
9	ア→エ→イ→ウ	北部九州への水田稲作（弥生時代の始まりごろ） → 奴国の金印（57 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 須恵器生産の広がり（5 世紀）
10	ア→エ→ウ→イ	北部九州への水田稲作（弥生時代の始まりごろ） → 奴国の金印（57 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 前方後円墳の広がり（3 世紀後半）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	ウ→ア→イ→エ	打製石器の使用（旧石器時代） → 弓矢による狩り（縄文時代） → 奴国の金印（57 年） → 倭の五王の南朝との外交（5 世紀）
12	ア→イ→ウ→エ	三内丸山の集落（縄文時代） → 北部九州への水田稲作（弥生時代の始まりごろ） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 渡来人と漢字の使用（5 世紀）
13	ウ→イ→ア→エ	奴国の金印（57 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 前方後円墳の広がり（3 世紀後半） → 倭王武の宋への使節（478 年）
14	エ→イ→ウ→ア	北部九州への水田稲作（弥生時代の始まりごろ） → 卑弥呼の共立（2 世紀後半ごろ） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 大仙陵古墳の築造（5 世紀中ごろ）
15	イ→ア→エ→ウ	奴国の金印（57 年） → 後漢の滅亡・魏の成立（220 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 倭王武の宋への使節（478 年）
16	ウ→エ→イ→ア	卑弥呼の共立（2 世紀後半ごろ） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 卑弥呼の死（3 世紀半ば） → 倭王武の宋への使節（478 年）
17	ア→イ→エ→ウ	奴国の金印（57 年） → 師升らの後漢への使節（107 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 倭王武の宋への使節（478 年）
18	エ→ウ→イ→ア	縄文土器の登場（縄文時代の始まり） → 弥生土器の登場（弥生時代の始まりごろ） → 前方後円墳の広がり（3 世紀後半） → 須恵器生産の広がり（5 世紀）
19	イ→エ→ウ→ア	三内丸山の集落（縄文時代） → 奴国の金印（57 年） → 卑弥呼の魏への使節（239 年） → 倭の五王の南朝との外交（5 世紀）
20	イ→ア→ウ→エ	大型動物の狩り（旧石器時代） → 北部九州への水田稲作（弥生時代の始まりごろ） → 前方後円墳の広がり（3 世紀後半） → 倭王武の宋への使節（478 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 岩宿遺跡の意味	縄文土器が使われる以前から日本列島に人々が住み、石器を使って暮らしていたことを明らかにした。	土器を使う以前の人々の存在と、石器を使った生活の両方を説明する。
問 2 自然環境とくらし	森林が広がり、木の実などを採集するほか、森に住むシカやイノシシなどを弓矢で狩る暮らしが広がった。	森林の広がりを、木の実の利用や中小の動物を狩ることと結び付ける。
問 3 土器の役割	食べ物を煮炊きできるようになり、木の実のあく抜きなどができて、食べられる物の種類が増えた。	煮炊きの利用と、食べられる物が増えることを結び付ける。
問 4 貝塚から読み取る	貝殻や魚の骨から、貝や魚をとっていたと考えられる。シカの骨や矢じりから、狩りもしていたと考えられる。	漁労と狩猟の二つを、それぞれ出土品を根拠にして説明する。
問 5 定住を示す遺跡	住居をつくり、食料を蓄えながら、一つの場所に住み続ける定住の暮らしをしていたと考えられる。	住居・食料の貯蔵を、一つの場所に住み続ける定住と結び付ける。
問 6 縄文と弥生の食料	縄文時代の狩猟・漁労・採集などに加え、弥生時代には水田で米を作る稲作が各地に広がった。	縄文時代の食料獲得の方法と、弥生時代の水田稲作の広がりを示す。
問 7 高床倉庫の工夫	地面からの湿気を避け、ねずみなどが入りにくくして、米などを傷みにくくし、長く蓄えるため。	湿気を防ぐことと、ねずみなどの害を防ぐことの両方を示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 稲作と共同作業	用水路や水田をつくり、水を管理するなど、一人では難しい大きな作業を共同で行う必要があったため。	用水路の整備などの具体例と、人々の協力が必要な理由を示す。
問 9 米の蓄えと身分の差	米を蓄えられるようになり、土地や蓄えに差が生まれた。共同作業や争いを指導する人々が力を強め、身分の差も広がった。	米の蓄えの差と、指導者の力の強まりの両方に触れる。
問 10 環濠と争い	集落を外敵から守るために堀や柵を設けた。水田や水、蓄えた米などをめぐって集落間で争ったと考えられる。	堀・柵の防御の役割と、土地・水・食料などをめぐる争いを示す。
問 11 二種類の金属器	青銅器は銅鐸などとして主に祭りに使われた。鉄器は鉄の斧や鎌などとして農作業や道具作り、武器などに使われた。	青銅器は祭り、鉄器は実用という違いを、それぞれ具体例とともに示す。
問 12 金印と王の権威	中国の皇帝から王として認められたことを示し、その地位を周囲に示して、自らの権威を高めることにつながった。	中国皇帝による承認と、奴国王の権威の高まりを結び付ける。
問 13 卑弥呼の政治と外交	祭りや呪術の力を背景に周辺の国々をまとめ、魏へ使節を送って、王の称号や銅鏡などを与えられた。	祭り・呪術による統治と、魏への使節という二つの面を示す。
問 14 倭の五王の外交	中国皇帝に地位を認めてもらうことで、国内の支配の権威を高め、朝鮮半島でも有利な立場を得ようとした。	国内の支配の強化と、朝鮮半島での立場の強化の二つを示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 巨大古墳が示す力	多くの人々に長期間の労働をさせ、食料や資材を集めて巨大な墓を造らせるほどの強い力をもっていたと考えられる。	多くの人々の労働を集める力を、巨大古墳の築造と結び付ける。
問 16 渡来人と社会の変化	須恵器を作る技術が伝わり、丈夫な土器が作られた。漢字の使用も広まり、記録や政治の仕事に役立った。	須恵器・漢字・鉄器作り・機織りなどから二つを挙げ、それぞれの役割を示す。
問 17 くらしを単純化しない	適切ではない。縄文時代にも植物を管理する工夫があり、弥生時代にも漁労や狩猟が続くなど、複数の方法で食料を得ていた。	不適切と判断し、縄文・弥生の両方について資料を根拠に説明する。
問 18 稲作の広がりと地域差	いえない。水田稲作が伝わる時期や受け入れられ方には地域差があり、全国が同じ時期に同じ暮らしへ変わったわけではない。	全国同時とはいえないとし、稲作の伝来時期や暮らし方の地域差を挙げる。
問 19 邪馬台国を調べる方法	『魏志』倭人伝の道のりや方角の記述を検討し、各地の集落や墓、出土品の年代などと照らし合わせて考える。	文献の具体的な記述と、遺跡・出土品・年代などの発掘成果を照合する。
問 20 古墳から政治を推測する	各地の豪族が大和政権と政治的に結び付いていたと考えられる。ただし、古墳の形だけでは全国に統一した法律や支配が及んだとは断定できない。	豪族と大和政権の結び付きを推測し、古墳の形だけでは断定できない限界も示す。